

道徳だより



家庭と学校
力を合わせて

テーマ 自分のいいところ（個性の伸長）
『いいところみつけた』（2年生）

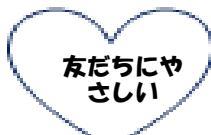
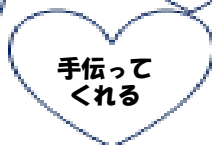
運動が得意で元気な弟に比べて、大人しくてあまり褒められたことがない「りえ」が、1年生の子が困っている時に手伝ってあげる優しい行動をします。一方で、一緒に掃除当番をする「しょうたくん」は、りえが掃除に遅れてきたことに対して怒っていて不機嫌で、りえのよいところには気づいていません。しかし「先生」はりえが1年生を助けてあげているところを見ていて、ほめてくれるというお話です。

「りえ」が先生に『いいところ』を見つけてもらったときの気持ちを考え合うことで、自分の長所を見つけてもらおうと、うれしい気持ちになることに気がきました。また、先日お家の方にご協力いただいた『わが子のいいところ』見つけをカードにまとめて、子どもたちに渡すことで、学校だけでなく、家庭での姿でも『いいところ』がたくさんあることが伝わりました。自分の『いいところ』を見つけてもらってうれしいな、もっと褒められるように頑張ろうという前向きな気持ちを持つことをねらいました。



児童のふり返り

- 「いいところ」を見つけてもらってうれしいです。
- うれしいし、たのしいし、気もちもいいです。
- ほめられてうれしいです。
- もっとほめられるように、がんばりたいと思いました。
- お母さんから、「いいところ」を見つけてもらってすごくうれしいし、さらに大きくなりました。
- わたしのいいところを見つけてくれた人の「いいところ」も見つけていきたいです。
- これからもいろいろないいことをしていきたいです。



担任より

毎日帰りの会で、今日の「ステキさん」や「ナイスさん」を見つけて発表する活動をしていました。「消しゴムをひろってくれた」「ノートを届けてくれた」という内容ばかりでした。もっとみんな一人一人に「いいところ」があるはずと思い、学習をしました。友だちからと、お家の人からの「いいところ」が書かれているハートカードを読んでいるときの、嬉しそうな表情が忘れられません。そして、見つけてもらってうれしいだけでなく、「もっといいことしたい」「これからも褒められたい」と素直に思いを持てる2年生の皆さんを本当に素晴らしいと思います。その後、帰りの会の発表では「仲良くできた」「大きな声で挨拶していた」「手伝っていた」と、「いいところ」の内容に広がりも見られるようになりました。これからもお互いのよさを見つけ合える仲間であってほしいと思います。